

# J E M S Jiho 時報

日系人福音宣教協力会 第50巻 2019年7・8・9・10月号

## 「見よ。わたしは、全てを新しくする」(黙示録 21:5)

全てが新しくされた

マウントハーモン修養会

日語部ディレクター

中浜一郎



「私はあらゆる時に主をほめた  
たえる」 詩篇三十四篇一節

今年でマウントハーモン修養会  
は第七十回を迎えました。私は中  
野雄一郎牧師を通してこの修養会  
に導かれて以来、今年で連続二十  
回目の参加となりました。初めて  
参加した二〇〇〇年の七日間のこ  
とは今でもよく覚えています。そ  
の時、クリスチャンになって二年  
にも満たないのに牧師になるよう  
に導かれ、その週の水曜日に明確  
に主からの召命を頂いたからです。  
修養会中に召命に答える決心がで  
きたのは、聖書が理解できたから  
でも、神様がわかったからでもあ  
りません。それは各集会に出て、  
兄弟姉妹の方々と交わり、毎回の  
食事、夜中の二時三時まで続く青  
年会、朝の静かな祈り、全ての時  
間の中でイエス様によって救われ  
た恵みの中にいる自分を発見でき  
たからです。あふれる喜びが次か  
ら次へと湧き上がって来る中で、  
主に従う決心を主に告白しました。  
それ以来ずっと喜びにあふれ続

けている、とは言い難いこともた  
くさんありました。「あらゆる時に  
主をほめたたえる」というクリス  
チャンライフはありえるのだろうか。  
朝起きた時から夜寝るまで心  
配は押し寄せてきます。しかし人  
をこの地上に明確な目的を持って  
置かれた主は、信仰によって、心  
配事をなくし、キリストにある恵  
みの中に生きてゆく道を与えてく  
ださいます。その道は山あり谷あ  
りに見えるけど平らな道です。心  
配は人を思いやるために心を配る  
ことであり、祈りへの入口となり、  
信仰へとつながっていくのです。

私は二〇〇四年に、修養会日語  
部のディレクターに按手を持って  
任命され、翌年から職務に着きま  
した。同年三月に牧師になる按手  
を受け、週日は自営業に従事しな  
がら、母教会の副牧師として働き  
始めました。JEMSの方針でマ  
ウントハーモン修養会のディレク  
ター、スモールグループのリーダ  
ーなど、信徒にご奉仕していただ  
くということでしたが、私は例外  
としてそのまま働くようになりま  
した。信徒としての立場に立ちな  
がら、教職者としても責務を果た  
して行くために、どう取り組んで  
いくかは大きな課題となりました。  
しかし主はただ主に仕え、人に仕  
える事に終始することで信仰生活  
上での霊的柔軟性とバランスを整  
えさせてくださいました。  
また超教派であるJEMSにお

いては、各派の信仰の姿勢の違い  
を越えて、修養会がキリストの一  
つの身体として、霊的一致を問う  
霊性を表していくことが重要な  
素であることを理解することがで  
きました。そこに素晴らしい恵み  
を経験することができるとです。

今年の修養会は、JEMS総主  
事を説得し、三年連続で福野正和  
牧師をお招きすることができまし  
た。それは先生が修養会での霊性  
のあり方を示してくださいました  
からです。一週間を通して一つのメッ  
セージに取り組み、全期間中をひ  
とつの礼拝とするように導いてく  
ださいました。各集会とプログラ  
ム、食事の時も、寝る時も、自由  
時間も何もかもがひとつの長い礼  
拝の中の一つとなりました。そこ  
は今までに無かった祝福に満ちあ  
ふれた時となり、これからの修養  
会の霊性の在り方の指標となりま  
した。主題聖句「見よ。わたしは、  
全てを新しくする」(黙示録二十  
一・五)の実現を見させていただ  
いたのです。過ぎし日々の創設者  
の方々の尊い祈りが受け継げられ  
てきたのを感じます。日語部を愛  
し支えられてきた多くの方々の祈  
りが積み重ねられてきたことを思  
います。金曜日の集会はまさに主  
が中心におられる天の御国の安息  
の中に確実に自分も皆と一緒にい  
るといふ喜びと恵みの集大成の時  
となりました。地上と天とが重な  
り、 (二ページ下段に続く



昨年七月、二〇一三年のマウントハーモン以来、五年ぶりにJEMS日語部コーディネーターの藤本三奈子さんと川崎キリスト教会で再会しました。その時に、来年のマウントハーモンに、夫婦で参加したい！という思いが与えられ、祈り始めました。主はこの祈りに応えてくださいました。



十字架の丘にて：藤森夫妻

祈りの課題をもつて、山に登りました。こまごまとした課題はさておき、私の中で信仰をリフレッシュしていただきたいという思いが強くありました。今年のテーマは、「新しい時代に向かって行く信仰と霊性」でした。期待が高まっています。月曜朝、聖書講義が始まりました。福野先生が語られる声に引き込まれていきました。例えるならば、海底で発見されて引き上げられた宝箱を開ける時のドキドキ感。さらに中身をひとつ

ひとつ拾い上げて行く時のワクワク感。一日目はアウトライン、二日目からその内容が詳しく解き明かされていきました。

福野先生は、黙示録二十一、十二章から「礼拝」の大切さについて、教えてくださいました。

「神様はご自分の臨在と栄光を表す人と場所を常に求めておられる。イエスキリストの罪の贖いを信じる者たちが集められた場所には神様が臨在される。キリストのからだである教会は、礼拝をささげる場所でもある。天の領域の恵みをこの地上で表す場所として教会が作られたのである」。

それゆえに主イエスの体である教会の霊性を高めてくださいという祈りを私たちが捧げてゆくようになるのです。さらに、私たちの教会にゆだねられている使命を祝福してくださいと祈るのです。兄弟姉妹の賜物が発揮され、霊性が豊かに満たされてゆくように、そして信仰が深められてゆくようにと、互いに祈ってゆくことが私たちの務めであることを知りました。「聖霊の働きによって、天における完成された礼拝を教会を通してこの地上に具体化することができる。地上では、私たちの生活から問題や課題がなくなることはない。しかし天上で私たちに約束されている霊的な祝福を、いまの生

活の中で受け取るのであれば、問題課題の中にあっても私たちの心は平安になる。これこそが霊的勝利と導かれるのである」。

福野先生が語られるメッセージに耳を傾けていると、自然と心が温かくなります。更に深いところで霊が喜んでるように感じました。また縛られているものから解放されたような思いも経験をしました。聖霊が働かれると私たちの心は温かくなる、と語られた通りになりました。

またマウントハーモンの交わりはとつても温かいものでした。十年前に初めて夫婦で参加した時に感じたことを、今回も変わらず感じる事ができました。ファミリー・フェローシップの時間、私は自分の弱さと積み重なった心の疲れから、グループをリードできなくなっていました。そんな私のために、ファミリー全員が私に手を置いて、祈ってくださいました。忘れられない経験をさせていただきました。

前後しますが、英語部と合同の開会礼拝の時に賛美した「Come into me all who are weak」(マタイ十一章)が頭を離れず、山を下りてからユーチューブで探して賛美していました。この賛美は、私が求道中、クリスチャンに

なりたてのころ、かれこれ三十八年近く前を思い出させてくれました。マタイ十一章二八、二九節は、よく引用される御言葉で、自分の中で新鮮味を失いかけていたのですが、この賛美を通してイエス様が極めて個人的に「疲れているのかい。何も心配しないで、私の胸の中に飛び込んでおいで。私のもので休ませてあげるよ」と語りかけてくださっているのを感じておりました。理屈抜きにそう思えたとき、何とも嬉しくて、何かとプレッシャーの多い日常に安心して戻っていく新しい力が与えられたのでした。これら全ての背後にあって、生きて働かれる主に心からの礼拝を捧げます。

(一ページから続く) 天に帰られた多くの兄弟姉妹たちの喜ぶお顔さえも見えるようでした。また、このひとつの礼拝は、各人が持つ様々な問題を主の前にさらけ出し、委ねていく勇気が与えられ、心が癒され、回復され、イエス・キリストにある、全てが新しくされた神の子としての歩みに造り変えられる恩恵にも預かりました。あらゆる時に主をほめたたえる者として立ち上がり、いつも主への賛美を口にする者と変えられて、愛する兄弟姉妹たちは霊の故郷マウントハーモンを後にしました。ハレルヤ、主の御名を賛美いたします。



# マウント・ハーモン修養会 2019



マウント・ハーモン修養会  
修養会に参加して

末広 和美



主の御名を心から賛美いたします。この度六月三〇日から七月六日までマウントハーモン修養会に初参加させて頂きました。過去に娘をユースキャンプへと送り続けてきましたが、その娘もこの修養会の一ヶ月前に結婚し、終に子育てを終えた私へのご褒美として主がこのチャンスを与えてくださったと思ひ、申し込み当初は心から喜んでいました。



シアトルへと娘夫婦と共に引越したため、多忙を極め、修養会が近づくにつれ様々な環境の変化からか、少しずつですが心身共に疲れを覚え、とても一週間も留守をしている場合ではないと考えるようになっていました。

そんな気持ちを引きずったまま出発の朝を迎えました。現地到着後も二、三日は心が晴れませんが

したが、一つだけ確信していた事は、「この多忙な中にある私には、機会を与えてくださったからには、主は私に伝えたい事があるのだ」ということでした。滞在したキャビンも、当初の予定したもののから急遽別室へと変更になり、ルームメイトは遅れて到着すると聞かされたのですが、実際には現れず、広いキャビンで、一週間一人でごす事になりました。

朝は祈祷会のため、早く部屋を出しましたが、夜は一人ぼっちでした。今思うと神様との交わり時間に充てられたのです。毎夜、その日聞いたメッセージのメモや聖書箇所を読み返し、祈っていくうちに修養会に対して後ろ向きだった私の気持ちを聖霊様が明らかに変化させて下さいました。「せっかくなのでできたのだから出来るだけ多くの方々と交わり、たくさんのお話を聞こう」という思いへと導かれたその晩、ある一人の宣教師のお証が私の心を捕らえました。その方は、鈴木リリー宣教師といわれる日系人のご高齢の女性で、日本の天草で長年宣教をされておられるとの事でした。「都会ならいざ知らず、あんな地方でしかもあのような高齢で、よくぞまあ」ととても衝撃的でした。決して大げさにはなく淡々と宣教の歩みをお証しされる姉妹に主のご臨在を見て大きな感動を覚えしました。

また翌日には、ジュンコ・ニシグチ・チェンダさんという日系クリスチャンシンガーソングライターの方のお証と賛美を聴きました。日本生まれですが、幼い頃にご家族と共にアメリカへと移住されて、今では日本語よりも英語の方が遥かに流暢になっているにも関わらず、彼女が日本語で歌う賛美に胸が締め付けられ、熱いものがこみ上げてきました。お二人の日本を愛する想いと与えられた賜物を用いて主に従順に仕える姿に主イエス・キリストの愛が満ちあふれている事を見いだし、「私もこんな後ろ向きではいられない、あの方々のように主に用いていただきたい」と、主に祈りました。

翌日のメッセージの中でメイン講師の福野正和先生が「信仰の創始者でおられるイエス様は、完成者でもあられる」と力強く語って下さいました。いつも結果ばかりを気にして初めの一歩が出ない私にとつてこの上もない励ましでした。このたびの修養会を通して一番強く感じた事は修養会の場には聞くべき言葉、会うべき人々、そして主ご自身が私を待っていたという事でした。私に大いなる励ましを与え新たな地で新しい働きへと導き、そのご計画に参加させて下さる主は素晴らしいお方です。来年も新しい土地で出会った方々とともに修養会に参加したいと心

から願っています。  
「わたしに呼び求めよ、そうすれば、わたしはあなたに答える。そしてあなたの知らない大きな隠されている事を、あなたに示す。」  
エレミヤ三十三章三節  
(ラズベガス日本人教会)

日米友好ゴルフツアーの恵み  
サム外村

九月三十日から十月五日まで、日米友好ゴルフツアーナメントツアーが開催され、米国から十名、日本から四名が参加しました。千葉県真名カントリークラブでゴルフを楽しんだ後は、同行した島田直牧師が、「GOLF」の一つずつのアルファベットを用いて福音を語って下さり、未信者の方々への良い伝道の機会となりました。

一行は房総の秋を楽しみ、再会を約束して帰国しました。



外村師(左端)と参加者達

## 第70回マウント・ハーモン修養会メッセージサイト

<https://www.mounthermon.org/media/jems>

メッセージタイトルと聖書箇所をお知らせします。サイトでは夜のスピーカーが福野師になっていますが、誤りですので下記をご参照下さい。

期間:2019年6月30日(日)ー7月6日(土)  
主題聖句:「見よ、わたしはすべてを新しくする。」  
(ヨハネの黙示録 21章5節)

### 【朝の聖書講解】

福野正和師 RCI南大阪福音教会主任牧師

### 【夜の集会メッセージ】

月:大里英二師 火:木村基一師 水:藤井 肇師  
木:市川 祥師 金:福野正和師

## 第6回 Stand Women's conference

10月5日(土)カリフォルニア州サンタアナ市のウィンターバーグ長老教会にて、マデリン・マニング牧師(カリフォルニア州パサデナチャーチ)を迎え、40名ほどの女性達が集いました。マデリン師は、私たちの人生に起こる問題は、主の臨在の中に自分自身を置き、主から学び、天の父のあなたへのご計画を知るためのものであると、ご自身の証を通して話してくださいました。参加者たちは、主の導きに癒され、美しい喜びの時を過ごしました。



マデリン 師とゴスペルクワイヤ

## JEMSオフィス新メンバー紹介

9月よりKlye KoshimizuがAACF(Asian American Christian Fellowship)のスタッフとして働き始めました。カイルの加入でAACFの働きに新しい考えや新しい技術が取り入れられ、キャンパス伝道が飛躍することが期待されます。カイル自身もCSUロングビルーチでAACFのリーダーとして奉仕し、また今夏の短期宣教チームに参加し、宣教に関する管理の仕事に就きたいという願いの中にありました。



## 2019年JEMS 夏季日本短期宣教報告

JEMS キャンパスミニストリーの働きであるAACFの大学生17名とJEMSスタッフ4名が日本へ短期宣教に行きました。それぞれの賜物を生かし、4カ所で奉仕しました。チームのためのお祈りを感謝します。



阿蘇(7月8日-24日)ゴスペルホーム・グローリー教会と協力し、地域の中学生への伝道

北海道(7月8日-24日)MEBIGの愛燐チャペルで小学生、ユースミニストリー、大学生伝道



豊橋・長野(7月20日-8月5日)ブラジル福音ホーリネス教団豊橋教会と協力、キッズキャンプ、ユースグループ、長野聖高原でのぶつとぶキャンプで奉仕



名古屋(7月20日-8月5日)ミュージックキャンプ、英語クラスで奉仕

## Stephen & Miku Inoue 新JEMS宣教師

8月より北海道にてJEMS宣教師としての働きを始めました。夫妻は日本で20年以上、仕事をしながら宣教をしてきました。今後はフルタイムの宣教師として活動されます。



## 【近況報告】

九月十日から二週間ほど、日本でのMEBIGセミナーに出席するため訪日しました。出発前夜に、次男が私の携帯電話のアップデータをすることを勧めてきました。何気なく、じゃお願いと携帯を渡して、荷作りをしていると、携帯を持ってきてくれましたが、アプリを開くアイコンの並びが無茶苦茶になり、開けなくなっているものもありました。日本では、携帯を頼りに行動しなければいけないのと思うと動揺し、不安が襲ってきました。頼るべきお方は主であるのに、いつの間にか携帯の便利さに頼り、流れてくる情報に心が奪われてしまっていることに気付かされました。 藤本三奈子

「いったん、光を受けて天よりの賜物を味わい、聖霊にあずかる者となり、また神の良きみ言葉と、きたるべき世の力とを味わった者たち」(ヘブル六:四、五)様々な色合いの果物を目で楽しみ、舌で心ゆくまで味わう実りの秋。イエス様の福音を深く味わい、心いっぱい満たすとき、零れ落ちるほど豊かな主の愛をだれかに伝えずにはいられなくなり、ますーと、ある宣教師の教え。秋の夜長に、み言葉を学びたい。み言葉が新しい光をあちこちに発信し、世界のすみずみまで主の愛に満たされますように。 西原黎子

**JEMS ADMINISTRATION**

Rev. Dr. Richard Chuman -  
Executive Director & Minister at Large  
Daichi Tsuruta-Senior Accountant  
Barrett Louie-Accounting Assistant  
Darryl Wong-Missions Administrator  
Mary Tabuchi-Office Administrator

**JEMS BOARD OF DIRECTORS**

David Akiyama-President  
Joel Nagatoshi-Vice President  
Larry Kuromiya-Treasurer  
Don Yamagishi-Secretary  
Ann Kuromiya-Recording Secretary  
*Members at Large:* Kevin Hayashida,  
Keith Kobayashi, Greg Oda, Mark Okada,  
Lawrence Tonomura, Ada Yeh

**JAPAN MISSIONS**

Roy Toma Director  
Amakusa Shinsetsu Ministry

**JAPAN MISSIONARIES**

Tim & Chie Burns-Nagoya  
Anne & Riz Crescini-Kitakyushu  
Ethan & Michele Fisher-Gifu  
Todd & Jayne Fong-Tokyo, CAJ  
Gayle Gutierrez-Machida  
Paul & Yu Kang-Nagoya  
Revs. Michael & Chris Mason-Osaka  
David & Yuka Mills-Kanagawa, J-Lodge  
Paul & Rie Mizuki  
Mitsuyoshi & Kristin Nakamura-Nagoya  
Julie Nitao-Rifu,Miyagi  
Kuni & Kristen Onishi-Kobe  
David & Tomo Robison-Tohoku  
Jon & Maki Robison-Tohoku  
Lily Suzuki-Amakusa  
John & Kazumi VanFarowe-Tajimi  
Nozomi & Kevin West-Kobe  
Fred & Chikako Whitwer-Tohoku  
Joseph & Yumiko Wu-Kobe  
Reo Yoshida-Kobe  
**SOUTH AMERICA MISSIONS**  
Rev. John Katagi-Director

**JAPAN AFFILIATES**

Rev. Paul Ariga-All Japan Revival Mission  
Mark & Jennifer Ballo-Suido Is a Lie, There Is Hope-Tokyo  
Rev. Megumi Enomoto-Shiga  
Nozomi Houlette-Nozomi Project  
Nao & Barbara Hansada-Director of AIGJ  
Rev. Timothy Himel-Soden, JEMS Japan Coord.  
Moto Kimura & Jo Nakamura-OneMusic  
Rev. Yoshihiro Kishi-Mission 2001, Music  
Hideo Kobori-Kyoto, Music  
Rev. Masashi Sugita-Dublin, Ohio  
Tomoko Suzuki-Tohoku  
Rev. Chandler Im-Tokyo Wasada Int. Christian School

**DIASPORA MINISTRY**

Eri Kobayashi (SoCal)  
Rev. Dennis Peters (NorCal)  
Akiko Sugimori (SoCal)

**US AFFILIATES**

Ray Sidney, Amy Lachica, -Here to Praise Ministries  
Dr. Martin Yahiro-JUMP-Japan Upward Mission Project  
Ms. Nana Yamamoto-USA Evangelism  
Dr. Patrick Zukeran- Christian Apologetics

**AACF CAMPUS MINISTRIES OF JEMS**

Jon Liu-AACF Director  
Chloe Chow-Media Coordinator

**AACF CAMPUS MINISTERS**

Chong Ahn, Rev. Melanie Mar Chow,  
David Fong, Rev. Victor Quon

**AACF CAMPUS MINISTERS (Volunteers)**

Betty Chen, Bruce Chow, Ashley Donald,  
Evelyn Fan Encarnacion, Nathan Fong, Helicon Kuan,  
Ed Kwong, Joyce Lam, Jasmine Lee, Adrian Li,  
Kyle Liu, Annie Ong, Mark Quan, Janet Reksatmodjo,  
Johannah Rosario

**MOUNT HERMON FAMILY CAMP**

Craig Wakamoto-Director  
Lisa Nagahori-Registrar

**MOUNT HERMON YOUTH CAMPS**

Jr. High Directors-Garron/Cynthia Tsushima  
Inter High Director-Joel Nagatoshi  
Sr. High Director-Ken Shida  
College Director-Ryan Najima  
Special Camp Directors-Bruce/Valerie Satow

**MOUNT HERMON YOUTH CAMPS**

Lisa Nagahori-Coordinator  
**MUSIC AND MEDIA**  
Lowell E. Sue-Director

**NICHIGO MINISTRIES**

Minako Fujimoto-US Coordinator  
Rev. Dr. Ryohei Kawano - Overseas  
Church Consultant

**PACIFIC NORTHWEST**

(STATE OF WASHINGTON)  
Rev. Carolyn Y. Shimabukuro -  
PNW Director & AACF Regional  
Director

**SENIORS & MEN 4 MISSIONS**

Rev. Dr. Sam Tonomura- Director

**SPORTS AND RECREATION**

Victor/Linda Louie - Volleyball  
Ken/Mary Tabuchi - Softball  
John Lee- Basketball League

**JEMS JOURNAL**

Emily Okada-Layout & Graphics  
Keyline Lithography -Printing

**JAPANESE EVANGELICAL MISSIONARY SOCIETY**

948 East Second Street  
Los Angeles, CA 90012-4317  
213.613.0022

E-Mail: [info@jems.org](mailto:info@jems.org) [www.jems.org](http://www.jems.org)

**RETURN SERVICE REQUESTED****NON PROFIT**

Auto  
**US POSTAGE PAID**  
Los Angeles, CA  
Permit #21877

**南加市民クリスマス賛美コンサート**

「きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお  
生まれになりました。この方こそ主キリストです。」

ルカの福音書 2 章 11 節

日時：2019年12月7日(土) 4時半開演

場所：フェイス合同メソジスト教会

2115 W.182<sup>nd</sup> St. Torrance, CA 90504

出演：南加諸教会や有志による賛美チーム、クワイヤなど

主催：南加キリスト教教会連合 共催：JEMS

**目次**

- |                          |        |
|--------------------------|--------|
| P 1 : 全てが新しくされた          | 中浜一郎師  |
| P 2 : 見よ。わたしは全てを新しくする    | 藤森奈都子姉 |
| P 3 : マウント・ハーモン修養会写真     |        |
| P 4 : 修養会に参加して           | 末広和美姉  |
| P 5 : 2019年JEMS 夏季短期宣教報告 |        |
| 近況報告                     | 藤本三奈子  |
| 編集後記                     | 西原梨子   |



JEMS オフィスまで  
ご連絡ください  
(213)613-0022